

# 令和8年第1回美咲町議会定例会一般質問

記

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	備考
山本宏治	① 令和8年度行政執行の方向性を問う	<p>3大プロジェクトは大変な苦勞を重ねながら完了を迎えた。さらには公共施設の再編整備も着実に進んでいる。今後は各地に残された跡地の利活用が課題となるが、美咲新時代へ向けた施策について伺う。</p> <p>(1) 町全体で出生数減少、高齢化や担い手不足が進む農業や商業などの課題が山積している。本年は町長就任から2期8年目の年であり、美咲新時代に向けた新年度の政策について伺う。</p> <p>(2) 中央地域では、新聞の新春首長インタビューで産業団地整備を前向きに検討とあった。津山南道路の整備も視野に入れているもの考えるが、今後のスケジュールを伺う。 また、旧本庁舎跡地などの利活用による亀甲商店街活性化の考えは。</p> <p>(3) 柵原地域では、美作岡山道路の早期開通と公共施設跡地の利活用による地域産業の発展が考えられる。柵原学園が開校し、学校を核とした地域づくりも進められている。閉校した学校跡地を含めた活用方法を伺う。</p>	町長 政策推進監 理財課長 地域みらい課長 産業観光課長 旭総合支所長 柵原総合支所長	

		<p>(4) 旭地域では、旧庁舎周辺、旧西川診療所跡地、三休公園などの利活用が課題である。報道によると、国は昭和29年に完成した旭川ダムの再整備に1100億円を投入する計画とのことである。この巨大プロジェクトに関連した地域活性化が図れないか伺う。</p>		
延原正憲	<p>① 防犯機能付き電話の普及促進を図れ</p>	<p>特殊詐欺による被害者は高齢者が多く、家の固定電話がほとんどで、現在も多発、巧妙化しており、早急な対応が求められる。 美咲町では平成30年度から高齢者世帯への防犯機能付き電話機の購入経費について周辺市町村よりも早くかつ高額な補助制度を導入している。しかし、制度導入後の利用実績は7年間の総計で115件、年平均16件と非常に少ない。 これまで、早期普及のために補助制度の周知の更なる強化と、町内業者限定条件の廃止を検討すべきと再三指摘してきた。 そこで、</p> <p>(1) 被害防止に対する町の基本姿勢を再度確認したい。</p> <p>(2) この補助制度「美咲町特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業補助金交付要綱」で定めている町内事業者からの購入条件を撤廃すれば、これまでより多くの防犯機能付き電話機が普及することで、特殊詐欺から町民を守ることができるのではないか。</p>	町長	くらし安全課長
	<p>② 旧片鉄車両の動態保存を図れ</p>	<p>柵原鉦山公園に保存されている旧片上鉄道車両は貴重な鉄道遺産であり、当時の同和鉦業株式会社から寄付された美咲町所有の財産である。数年前まで毎月第一日曜日には、保存会によって試験運行されていたが、最近では保守整備されることなく劣化が進んでおり、このまま放置すると、復元することも不可能となることが危惧される。 これらの車両を美咲町の貴重な観光資源として復活させ、動態保存に活用することを提案したい。 そこで、</p>		

		<p>(1) これら町有車両を復活させることについての町の基本方針を確認したい。</p> <p>(2) これら車両を動態保存するためにはどのような対応が必要か確認したい。</p> <p>(3) 動態保存するために支障となる課題があれば確認したい。</p>	<p>町 長</p> <p>産 業 観 光 課 長</p> <p>産 業 観 光 課 長</p>	
小林 達 夫	① 災害時のエネルギー確保について	<p>能登半島地震など最近、大規模な災害が起こり長期的な停電等により避難生活の維持が困難な状況の事例があると聞く。さらに確率が高まっている南海トラフ地震が起これば、全国的に電力や燃料供給に重大な支障が出ると指摘されている。こうした事を踏まえ災害発生時のエネルギー確保や体制強化を美咲町としてはどう考えているのか伺いたい。</p> <p>(1) 避難所における電源供給等のエネルギー確保はどう考えているか。</p> <p>(2) 災害時の燃料等の供給体制の強靱化に向けた準備状況や今後の課題はどうか。</p> <p>(3) 避難所として使用される学校施設の体育館で停電が起こった時の対応はどう考えているのか。</p>	<p>くらし安全課長</p> <p>教育総務課長</p>	

左居喜次	① 高齢者福祉施設におけるサービス水準の維持について	<p>本町の高齢者福祉施設では、入所者の増加や介護度の重度化、介護人材の不足に加え、近年の物価高騰により、食材費・光熱費・消耗品費などの運営コストが大きく上昇している。こうした状況は、施設運営に直接的な負担を与え、結果としてサービス水準の低下が懸念される。</p> <p>入所者が安心して生活できる環境を守るためには、現在のサービス水準を維持し、必要に応じて質の向上を図ることが不可欠と考える。については、以下の点について町の見解を伺う。</p> <p>(1) 町内の高齢者福祉施設におけるサービス水準の現状認識と、物価高騰を含む課題について</p> <p>(2) 介護人材の確保・定着に向けた町の取り組みと、事業者支援の必要性について</p> <p>(3) 施設の老朽化や設備更新への対応方針と、運営コスト増を踏まえた計画的な改善策について</p>	町 保 険 年 金 課 長 福 祉 し あ わ せ 課 長	
江原一夫	① 農業機械について支援策は	<p>担い手不足などにより、農業離れが全国的に進んでいる。今後、少しでも農業離れを防ぐ目的として高額な農業機械購入などについて支援策は考えられないか伺う。</p>	産 業 観 光 課 長	
大天嘉行	① 小規模多機能自治の制度とその取組について	<p>(1) 各地域が小規模多機能自治に取り組んでいるが、町内の何地区が取り組んでいるか。</p> <p>(2) 小規模多機能自治を推進しているが、取り組もうとしている地区への説明等はなされているか。</p> <p>(3) 各地区での活動は、多種多様であると思われるが、地区のコミュニティ活動がより活性化するような支援はあるのか。</p>	町 地 域 み ら い 課 長 産 業 観 光 課 長	

		<p>(4) 各地区にコミュニティセンターや集会施設が建設されたり、整備されている地区もあるが、これらの施設に人的配置をし、行政の支所または出張所的な行政サービスや、地域活動に結びつけるような施策は考えられないか。</p> <p>(5) 中山間地域等直接支払交付金事業や、多面的機能支払交付金事業の事務的支援のアンケート調査がなされているが、地元負担を含めこれらの活動を幅広く推進し、農業施策の人的支援に平行して取り組むことはできないか。</p>		
山本 資	① 道路認定業務について	昭和60年代初頭から道路台帳整備が行われ、幾度も議案として道路線の認定・廃止が提案され可決されてきた。現在も状況は変化しており、今後同様の議案が提案されると思われる。道路線認定について、どのように進めているか。	建設課長	
	② 橋梁点検結果の周知について	道路新設・改良工事に伴い橋梁整備も同時に行ってきた。現在は構造物の経年劣化も進行し、必要な橋梁から点検を実施しているが、その結果をどのように周知しているか。	建設課長	
藤井 智江	① 加齢性難聴用補聴器のレンタル料・購入費への補助はできないか	加齢性難聴は認知症の大きな要因とされている。それは情報の伝達が困難になるからだと言われている。 加齢性難聴用補聴器のレンタル料・購入費への補助はできないか。	町保険年金課長	
	② 学園・学校について	今年度から公立の小学校では全ての学年で35人学級となり、令和8年度からは中学校も段階的に35人学級になる。 また、国の制度として、学校給食費が小学校1年生から6年生まで無償化となる。	町教 育 長	

		<p>(1) 教室の不足は生じないか。</p> <p>(2) 中学校と義務教育学校7年生から9年生の給食費無償化はできないか。</p> <p>(3) 学校で児童・生徒が使う備品などの整備状況は十分か。限られた予算の中で何を優先しているか。</p>		
	③ 町政の情報周知、町政への住民参画は十分か	<p>(1) 住民への町政の情報周知について、具体的にどう進めているのか。</p> <p>(2) 町政への住民参画は十分できているか。また、住民参画の必要性をどう考えるか。</p>	町	長
矢吹一郎	① 美咲町国土強靱化地域計画について	<p>国において、防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策が令和7年度で終了し、新たに第1次国土強靱化実施中期計画が令和8年度から実施する計画である。</p> <p>令和8年度から令和12年度までの5年間で全326施策を20兆円強の規模で実施するとある。</p> <p>(1) 今年美咲町では、国土強靱化地域計画（案）についてパブリックコメントを実施したが、策定された計画の概要について伺いたい。</p> <p>(2) 国土強靱化地域計画（案）に盛り込まれた事業のうち、令和8年度当初予算に計上されている防災・減災に関連し、特に住民の安心・安全に関与するものの内容をお聞きしたい。</p>	町	<p>長</p> <p>くらし安全課長</p> <p>建設課長</p> <p>上下水道課長</p> <p>教育総務課長</p>

	<p>② 地方創生に関して美咲町の取り組みは</p>	<p>民間組織の人口戦略会議が2024年4月に公表した報告書によると、少子化に伴う消滅可能性自治体が県内で10市町となっている。</p> <p>(1) 昨年6月、石破内閣で地方創生2.0基本構想が掲げられたが、本町の方針についてお聞きしたい。</p> <p>(2) 現在、第4次振興計画を策定されているが、本町の目指す地方創生の将来像を伺いたい。</p>	町 長	
板垣正寿	<p>① 新しいまちづくりのビジョンは</p>	<p>いよいよ令和7年度が幕を閉じ、新年度が始まろうとしている。これまで義務教育学校、新庁舎、数々の公共施設の集約化などの事業により、町が新しく生まれ変わりつつある。</p> <p>これら大型事業も終盤を迎え、新しい町の指針となる第4次振興計画も準備されつつあると認識している。新年度予算の方針も踏まえ、今後の町の新しいまちづくりのビジョンを以下の項目に分けて問う。</p> <p>(1) 義務教育学校の建設により、学校に通いやすい土地への居住を求める声が寄せられていると聞く。今後の分譲地の整備について、すでにある計画と今後の方針を問う。</p> <p>(2) 町の地域公共交通の要であり、町の中心部とも言える亀甲駅周辺を起点とした町の発展を目指す施策を検討できないか。旧本庁舎跡地の有効活用を考慮したまちづくりの方針を、官民と地域住民が協議する体制を整えて共有し、亀甲駅周辺のまちづくり計画の作成を検討してはどうか。</p> <p>(3) 公共施設の集約化により、跡地の有効活用が今後の課題となっている。それぞれの地域の特色に沿った跡地の有効活用が求められるが、近年の集約化事業によって跡地となった場所の今後の方針を問う。</p>	町 理 財 課 長 地 域 み ら い 課 長	

	<p>② 指定管理者制度の 今後の方針は</p>	<p>美咲町行財政改革の指針として、公有財産マネジメントの推進について、公共施設の維持管理費などの「見える化」が求められている。 また、民間活力活用の推進について、小規模多機能自治や町内事業者との連携強化に努め、将来的にまちづくりの主体が作られることが期待されている。これらの見解を踏まえ、指定管理者制度の考え方について以下の項目に分けて問う。</p> <p>(1) 指定管理料の設定基準はどのように定められているか。また、指定管理料が0円とはどのような場合か。</p> <p>(2) 指定管理者が事業収益を得た場合の指定管理料設定の算定方法はどのように定められているか。</p> <p>(3) 公共施設の持続可能な運営のためにも、住民のためになるサービスを提供し、かつ町の地域経済の活性化に大きく寄与する指定管理の取り組みが重要である。指定管理者制度の今後の方針についての見解を示されたい。</p>	<p>町 長 理 財 課 長 地 域 み ら い 課 長</p>	
<p>三 船 博 之</p>	<p>① 町内の拠点施設に おけるAEDの設 置状況について</p>	<p>町内各地域に拠点施設が存在しており、地域イベントや避難施設として利用されている。そうした拠点施設には非常時に備えAED等が整備されていると思うが設置状況について問う。 併せて、実際に使用されたことがあるか問う。</p>	<p>町 長 く ら し 安 全 課 長 教 育 総 務 課 長</p>	

